

地域振興推進費事業総括表

提出区分	整理番号	課題区分	事業名	事業概要	事業期間	備考
	1	C	信州まつもと空港レンタカー利用促進キャンペーン事業	アフターコロナにおいて空港周辺地域の周遊を促進するため、空港を利用して来県する旅行者のうち、特に広域的に周遊する傾向のあるレンタカー利用者に対し、地域内での周遊、滞在及び消費の促進を図るための事業を実施。 ・観光パスポート(レンタカーでぐるっ得パス)の配付によるキャンペーン実施等 (諏訪、木曾及び北アルプス地域と共同実施)	令和3年4月 ～ 令和4年3月	
	2	C	空港利用促進等PR事業	新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ空港利用者の増加のため、空港の利用促進及び利用者のおもてなし等を実施。 ・チャーター便等で来訪する観光客への配布ノベルティの作成等	令和3年4月 ～ 令和4年3月	
廃止	3	C	ワインバレー魅力発信事業	信州まつもとと空港定期便発着地において、当地域ワインを紹介することで当地域に親しみや興味を持ってもらい、空港の利用促進につなげるため、信州まつもとと空港地元利用促進協議会と連携イベントに出展	令和3年9月 ～ 令和3年11月	
	4	C	信州まつもとと空港賑わい創出事業	アフターコロナを見据え、空港利用者数の回復のための賑わい創出事業や夏季・冬季オリンピック・パラリンピック開催による外国客への対応整備のため以下の事業を実施。 ・空港見学会などの空港イベントを実施し、その中でゼロカーボン推進の取組みを踏まえた空港PRグッズ等を作成、配布 ・外国人利用者増に対応するため、空港内の案内看板表示を多言語表示にし、インターネット環境で詳細情報を入手できるような案内看板の整備	令和3年4月 ～ 令和4年3月	
	5	C	花緑ボランティア等推進事業	信州花フェスタ2019の記憶と成果を活かしながら、松本平広域公園の魅力向上と花緑ボランティア活動の活性化のため、地域住民や民間企業等のボランティア団体を対象とした緑化講習会等を開催	令和3年4月 ～ 令和4年2月	
	6	C	新型コロナ対策啓発物品作成事業	市村と協働して行う新型コロナウイルス感染拡大防止やワクチン接種に向けた啓発物品を作成	令和3年10月 ～ 令和4年3月	
	7	C	上高地を訪れる登山客・観光客の安全確保のための事業	上高地を訪れる登山客・観光客の安全確保のために、噴火災害等の災害を想定した防災マップを作成	令和3年11月 ～ 令和4年3月	
	8	C	近代化遺産の魅力発信事業	近代化遺産の観光資源化を図るため、以下の事業を実施。 ・近代化遺産カード及びカードマップを活用したモニターツアーの開催 ・近代化遺産を巡る旅行商品の開発の検討 ・近代化遺産カード及びカードマップの増刷	令和3年4月 ～ 令和4年3月	

9	C	信州まつもと広域圏まるごと移住支援事業	<p>アフターコロナによる地方回帰の動きを捉えた広域的な移住促進対策への支援を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信州まつもと広域圏まるごと移住相談会の開催や移住体験ツアーの開催 ・信州まつもと広域圏まるごと移住ガイドブックを活用した広域的な移住支援 ・信州まつもと広域圏まるごと移住ガイドブックの増刷 	令和3年4月 ～ 令和4年3月	
10	C	農業資産魅力発信事業	<p>管内の農地を支える農業用水利施設と田園風景を観光資源や地域学習に活用。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中信平の水利系統図を作成。作成した図面はパネルにして展望台等に掲示を依頼したり、下敷きを作成・配布し小学生の地域学習へ活用 	令和4年1月 ～ 令和4年3月	
11	C	信州旅の宿フルーツでおもてなし事業	<p>アフターコロナ対策として、新型コロナウイルスの影響を受けた観光業界と果樹産地が連携して、松本地域を訪れるお客様に、松本地域の特産の果実を提供することで、旅行者の満足度向上に併せ、松本地域産の果実の認知度向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本管内の観光地に宿泊した観光客に、松本地域特産のりんごを配布 	令和3年10月 ～ 令和4年12月	
12	C	防災・環境教育の普及拡大事業	<p>防災・環境教育の普及拡大のため、以下の事業を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化に起因する環境・防災講演会の開催(研修会のDVDを作成) ・ゼロカーボンに係る指導者研修会の開催(信州ゼロカーボンWEB講座の活用、グッズの作成、配布) 	令和3年4月 ～ 令和4年3月	
13	C	低炭素社会に向けた地元木材製品等普及拡大事業	<p>暮らしの中で身近にある主に海外由来の人工素材の製品を、再生可能な地域資源である木材製品等に転換していくために、ゼロカーボンの観点で、地元の針葉樹家具や伝統的木工芸品、漆器等の普及拡大に向けた取組を推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普及展示用木工品等の購入 ・松本合同庁舎における木工品等常設展示と地元作家等の紹介 ・展示用木工品等を活用したPR活動 	令和3年6月 ～ 令和4年3月	
14	B	産科医療提供体制維持確保事業	<p>安心して出産できる医療体制の維持を図るとともに、地域で子を産み育てることの安心感を醸成し、出産・子育て環境の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分娩医療機関と健診協力医療機関との役割分担による産科医療提供体を維持していくため、この体制を住民が理解し、協力が得られるよう公開講座等を開催 <p>(大町保健福祉事務所と共同実施)</p>	令和3年10月 ～ 令和3年11月	
15	C	松本空港自然災害・感染症対応能力向上事業	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、空港を利用する方に対して、新型コロナウイルス感染症に係る知事メッセージや「新型コロナ『デルタ株』と闘う県民共同宣言」等を、デジタルサイネージを活用して広報周知し、まん延防止等の対策への協力の呼びかけを行う。</p>	令和3年9月 ～ 令和4年3月	
16	C	断層及び断層地形現地見学会	<p>松本地域に存在する活断層や、その活動により形成された地形を、専門家の解説のもと現地見学することで、管内市村の行政職員及び消防団員等の災害リスクに対する知見を深めるとともに、さらなる防災意識の向上につなげる。</p>	令和3年11月	

廃止	17	C	野鼠被害軽減対策モデル事業	<p>松本管内は果樹、米の主産地であるが、野鼠による被害が起きている。</p> <p>被害は、果樹は園地の樹体被害、米は貯蔵中の被害が中心であるが、米の被害対策は侵入防止のためのため、今回生息数の減に向けた対策を試験的に実施する。</p> <p>海外で実績のあるトラップシステムを導入し、農家等に貸出し、その効果をセンサーカメラ等で検証する。</p>	<p>令和4年2月 ～ 令和4年3月</p>	
	18	C	スイカ炭疽病発生予察システム整備事業	<p>管内は県下を代表するスイカの産地であるが、令和3年度はスイカ炭疽病が多発生しその被害金額は2億円を超え、その対策が求められる。</p> <p>県外(北陸、東北)では、気象データから発病を予察する高額なシステムの導入が進む一方、県内で導入が進んでいない。</p> <p>そこで、長野県農業試験場が企業と共同開発した、気象観測装置のシステムの効果を検証して炭疽病対策に活かすことで、生産安定につなげる</p>	<p>令和4年2月 ～ 令和4年3月</p>	
	19	C	風食被害の実態把握対策事業	<p>松本南西部(松本市、塩尻市、山形村、朝日村)で問題となる春先の風食被害の実態を把握するとともに、市村と連携した対策につなげる。</p> <p>風食発生ほ場(農場)及び風食防止対策ほ場へタイムラプスカメラ(コマ送り動画のように撮影できるカメラ)を設置し、風食の実態を把握する。</p>	<p>令和4年2月 ～ 令和4年3月</p>	